

明るい未来へ夢と希望を乗せて！
 今日も走るよニコニコハウスの公用車！！



現在、ニコニコハウスは南区と緑区を併せて16台の公用車がいつも躍動しております。ニコニコハウスとしても重要な役割を担う公用車たち。そんな欠かせない移動を補う社会的ツールなわけですね。今後も熱心な“愛車精神”を持ってメンテナンスしていきたいです！！



いつもニコニコハウスの活動にご協力いただきありがとうございます。

ご寄付のお願い

・刺しゅう糸(ニコニコハウス鶴里)/石鹸(ニコニコデイサービス鶴里)

よろしくお願いします。



発行：社会福祉法人ニコニコハウス
 〒457-0021
 名古屋市南区鶴里町3丁目40番地1
 TEL 052-825-0711
 FAX 052-819-1577
 ※印刷に不具合がありましたらお取替えいたします。

是非ご覧ください😊



ホームページ



「X」



インスタグラム

ニコニコハウスだよりvol.8 2025年5月発行



ニコニコハウスだより vol.8

2025年春号



天白川堤防からの鶴里建物



鶴里建物裏の花壇



正面からの鶴里建物



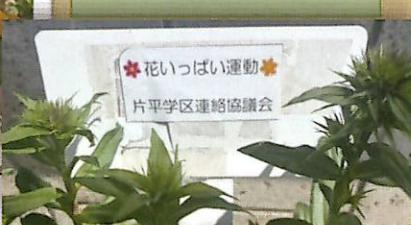
トレーラーハウス



鳴海建物



どんたく建物



春号の表紙のテーマは「建物🏠と花🌸」

ニコニコハウス建物の周りには様々なお花であふれています。このお花はボランティアさんや地域の方が植えて管理してくださっており、ニコニコハウスの利用者さんや職員を支えています。いつもありがとうございます😊

令和7年度を迎えて ～管理者より挨拶～



ニコニコハウス鶴里
石川修平

今年は肌寒い春かと思っていましたが、4月に入り急に暖かくなってまいりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

昨年度は皆さんの念願だった日帰り旅行（南知多へエビフライを食べに行こう！）を計画し実施することができました。豪華な食事をお腹いっぱい皆さんと一緒に食べることができ、とても良い笑顔がたくさん見ることができました。帰りにえびせんべいの里へも寄り、お土産も楽しんで購入することができました。

ただ翌日はお仕事で旅行の余韻（疲れ）が残った方も多く、「ゆっくりお仕事をしましょう…」という感じでした。また食事面での魚の骨を抜く、細かくはさみを入れるなどの介助や、お手洗いで介助が必要な場面が以前に比べ増えた印象がありました。旅行の楽しみ方も工夫しながら皆さんに合ったことを企画できるようにしたいと思います。

今年度はお仕事や、旅行などの余暇活動に加えレクリエーションの活動にも取り組んで行きたいと思います。いろいろな事を皆さんと一緒に経験し、楽しんで一年を過ごしたいと思います。

昨年は利用者様とのお別れの多い一年でした。また新たな出会いの多い一年でもありました。ボランティアさんにもたくさんきていただきました。今年も、たくさんあるデイサービスの中でニコニコデイサービスにきていただいたたり、関わっていただいている方に感謝し、できることをひとつずつ行っていきたいと思います。

2025年は、団塊の世代が全員75歳以上になる節目であり、国や自治体は今年を目途として約20年前から「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んできました。一定の圏域ごとに地域包括支援センター（名古屋では「いきいき支援センター」と呼ばれます）を設置して、医療や介護、保健福祉サービス、住民互助活動等が総合的に提供される体制の整備が行われてきたところです。当事業所も、地域包括ケアの一員として、役割を果たしていきたいと考えています。

介護支援センターなごみの特徴は、障害者の高齢化にかかるケースや、障害者と高齢者で構成される世帯を担当することが多いことです。特に、障害者が65歳を迎えて、障害福祉制度から介護保険制度に移行するにあたっては、未整備な部分も散見され、様々な問題を経験してきました。行政に問題の実態を伝えて、制度改善に向けて働きかけることも重要な仕事であると心得て、今年も業務にあたっていきたいと思ひます。



介護支援センターなごみ
阿隅貴臣



相談支援センターなごみ
桑原和子

昨年度、計画相談の支援を通して、特に印象的だったのは、ヘルパーさん、なかでも、移動支援のヘルパーさんが、人手不足や事業所の閉鎖などで、利用できなくなる方が、とても多くなったことでした。また、相談支援センターなごみが担当している障害がある方の、ご家族・保護者の方が、年齢を重ね、従来、担っておられた役割を、変更していく必要がでてきている世帯も多くなっています。

受給者証の更新や、モニタリングなどでお会いする時には、現在の生活を大切にしつつ、近い将来のこと・少し先の将来のこととも考える機会にできれば、と考えています。



ニコニコホーム
ショートステイどんたく
林田陽平

ホームで暮らしている利用者さんは、年々歳を積み重ねられ、様々な変化がみえてきたり、感じるようになってきたりしています。そのような中でも、明るく楽しく豊かに暮らしていただくために、今まで以上に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っています。今後の人生と一緒に大事にしていけるよう精一杯努めたいと思っております。よろしくお願い致します。

今年度のどんたくは、「安全で安心して過ごせる場の提供」「質の高い支援」「ご利用者ご家族様や地域のニーズに corres 応する」を3つの柱とし、職員が持っている力を存分に発揮できるように準備してまいります。皆様にとっても私たちにとっても「どんたくがあって良かった」と思えるような事業所を今以上に目指します。よろしくお願い致します。



ヘルパーステーションわはは
吉安良太

昨年度まではわははの管理者のみを担っておりましたが、今年度からはヘルパーの業務にも入らせてもらっております。その中で改めて直接利用者さんの支援に入ることの責任とやりがいを感じているところです。

責任という意味では、ヘルパー業務だけではないですが、対人援助の業務は、支援者がサービス提供を直接行うため、支援者の支援の仕方や考え方などがダイレクトにサービスの質につながるということを意識して行く必要があると思っております。できるだけ利用者さんのご要望に添いながら、安心して支援が任せてもらえることや信頼関係の構築を目指していくことがヘルパーとしてのやりがいにもつながるのではないかと考えております。

そのためにはできるだけヘルパーとサービス提供責任者が連携を取りながら、利用者さんを中心によりよい支援ができるように、利用者さんのことをより知り、より考えていける事業所にしていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



ニコニコ美術館



ニコニコハウスの利用者さんに好きな絵をかいてもらいました😊
みなさんほどの作品がお好きですか？

永年勤続お疲れ様です



デイサービス 野口沙織さん



デイサービス 青砥孝子さん



ホーム 南由貴子さん



ホーム 松澤令子さん



ホーム 渡邊光輝さん



永年勤続の職員さんより一言

デイサービスで看護師として勤務させて頂いています。周りの皆さんに助けて頂きながら、気がつけば20年という感じです。この20年で、デイサービスでの仕事内容は色々と変わりました。まず、私が勤めだした当初は、障害者の方の受け入れはありませんでした。正直、それまでほとんど障害のある方と接する機会がなかったので初めは戸惑う事も多かったです。しかし今では、様々な個性の方と接し、それがあたりまえの日常となっています。他にもレクリエーションや機能訓練など新しい事に取り組んで参りました。新しい事を始める時は、やはり不安はつきものですが、これからやりがいを感じながら楽しく頑張っていきたいと思っています。

嘱託職員としてデイサービスに入職して10年。孫が今年ハタチになるので祖母歴は20年。三男も独立して入れ替わりに92歳要介護2の母との同居が始まって1年以上が過ぎました。介護離職はしないと決め、母のケアマネよりニコニコの職員に知恵をもらい介護休暇やデイの職員みんなに助けてもらいながら仕事を続けてこられたと感謝しております。そして母の介護を自宅でしようと思えた事がこの仕事をしてきた最大のメリットだと思っています。もう少しの間デイサービスの業務とリアル介護の両立が出来るよう頑張りたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。

この度は勤続10年の表彰をいただきありがとうございます。もう10年と驚いております。子育ても終わり、趣味のガーデニングや旅行を楽しむ時間も作れるようになりました。私のようなものが細く長くはありますが、楽しく元気にニコニコホームに関わっている事はひとえにご利用者様と職員さんのおかげだと心より感謝しております。今後も笑顔溢れるホームが続くよう心して勤務していきたいと思っています。

ホーム泊職員として入職して10年、前職もグループホームで勤めていました。ホームでの業務で困ったときは、ほかの職員さんに相談しアドバイスをもらえたり、現場のミーティングの中で、入居者さんの支援についての色々な意見などから気づかされること、勉強になることもあったりと、仕事にやりがいを感じています。また、私の苦手とする部分をみなさんでカバーして下さったりする環境もあり10年も勤めてこられたのだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も入居者さんが安心して生活できるようにまず私自身が日々穏やかな気持ちでいられるよう努め、良い支援ができるように頑張りたいと思います。

あっという間にもう10年が経過したようで、色々な失敗や時には悩むこともありました。が、今ではその全ての経験が新たな学びのきっかけであったと捉えています。何か一つでも欠けていたら現在の自分はないですし、その都度成長の課題を与えてくれた方々に感謝の気持ちを感じています。また、公私共に大抵のことには「前向きな視点」で考える習慣がついたことは、この10年間で一番大きな収穫だと思っています。今後も心身ともに整いマインドフルな状態で楽しく仕事に向き合っていきたいと思っています。

2024年度 ふくしネットワーク第3回研修会

事業所による発表の参加を経て

ニコニコハウス鶴里 田中美知代

昨年の11月になりますが、社会福祉法人サン・ビジョンジョイフル千種交流センターで演題発表が行われました。この研修会では発表する事業所に順位がつきますが、第2回の際はニコニコデイサービスの職員が参加し惜しくも3位までに入れずに悔しい思いをしました。そして今年度第3回！リベンジをかけ生活介護事業所の鶴里が参加することになりました。

発表のテーマは「サービス向上の取り組み」ということで、ニコニコハウス鶴里といえば、もともとパン屋さんから始まったので「パン屋さん！」というイメージが強いのですが今回は、あえて「絞りの取り組み」と言うテーマで発表しようということになり本番に臨ませていただきました。

絞り布巾の工程、利用者の方々がそれぞれの得意分野を生かし1つの製品を作り上げ、そして地域社会へと繋げていくという、ニコニコの理念を生かしたとてもいい発表となりました。

高齢事業所の参加が多い中、障がい者生活介護事業所の参加ということで、ただでさえインパクトがあり、そして「絞り」を題材にしてのテーマだったので、これは絶対3位以内に入れる！と謎の確信がありました。3位以内に入って賞金がもらえたら、年末に予定している利用者さんとの忘年会でみんなの食事代にする！と意気込んでいた私でした。が・・・残念ながら3位以内には入れず、悔しい思いをしました。

残念ながら3位以内には入れませんでしたが、人前で発表する機会はゼロに近いくらいありませんし、とても良い機会に恵まれた事や忙しい中で練習に付き合った職員の方々に感謝の気持ちと、更に利用者さんが行っている珍しい絞りの作業を、自信を持って伝えることができ、嬉しさや達成感を味わうことができました。

ありがとうございました。

伝統工芸への挑戦 ～福祉から地域社会へのつながりへ～

障がいのある方がそれぞれの特性・強みを活かして一つの製品を作り上げる。(2)



障がいのある方がそれぞれの特性・強みを活かして一つの製品を作り上げる。(3)



Niconico2525

